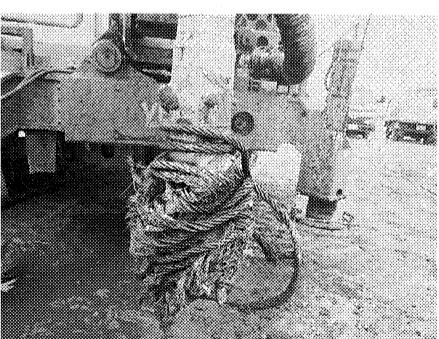
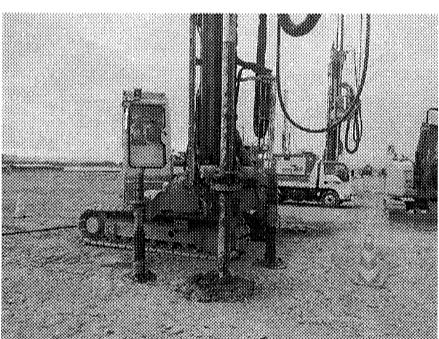


物流の効率化と産業活動を支援する為の港湾機能の強化に向けた取り組みが進んでいます。本工事もその一環であり、ふ頭用地としての整備が急がれる中、圧密・排水工・プラスチックボーダードレーン工(PBD工)・改良対象地にPBを打込み、その上から盛土などで荷重をかけると土中の水分がPB内を通り排水され、その結果、軟弱な地盤の圧密沈下が促進され、地盤

通常アースオーナーの付いた三
点式の大きな機械が採用され
事の多いこの先行掘削ですが、
杭打機とダンプでの移動が比較
的容易で、必要なタイミングで
試掘や再施工ができ、当社の施
工方法は現場で大変重宝してい
ただきました。

大阪湾が目の前に広がるオーシャンビューで、一度日本野鳥の会の方々が現地の野鳥観察に来られる様な現場でしたが、各の海辺は毎日風が厳しく、杭機の左側から吹く強風には、工アーチを運ぶホースが煽られ、オーナガの上にのつてしまったり、作

一日には全ての削削を終了する
ことが出来ました。
お客様からのご要望への柔軟
な対応、現場でのビット修理に
も対応していただいた協力会社
様に感謝いたします。皆様のご
協力を評価していただき、引き
続き隣の工区のお話しもいただ
く事が出来ました。



機械使用 G I - 1 3 0 C 等 二セット

○ シ付為削 まな高いに

われた為、鉱さいが残つて、地盤改良により強度の
埋土層を貫入する事が出来ないので先行掘削が必要となり

す。この経験が、彼の人生を大きく左右したそうです。この時、「医師は急病人であれば、何が超硬合金の爪がついているコニカルビットでもどんどん摩耗してしまいます。貫入試験一三〇回本が終わつた時点でのビットの損耗具合は相当なものでした。これをその都度修理に出していくには工期も予算も間に合いません

により、何とか左腕の切断は免れました。その後は、長いリハビリの末、野球ができるまでに動油ホースと絡まつたり、共同防止装置のテレスコがとんでもない方向によじれたりする為ホースを常にロープで引っ張りながらの施工になりました。

水・土壤への安全性」は、生命にも係る重要なことだと考えております。余談ですが、私の白境を整えていただいた元請の吉田組様、工程の調整、作業環境に対してもご配慮していただきました。この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

東京支店 環境・開発部
部長 水島 達史

最前線レポート

発行所
大洋基礎工業株
たいよう新聞委員会

声援

あつても診るべきだ。どんな人

回復しております

宅も、汚染土壤の浄化跡地でま

たいよう

ろう。そして多くの急病人や困った人を助けよう。」と強く誓ったといいます。

して預けられる病院』、前述の理念『断らない医療』とともに、自らが実感した経験でした。私の所属部署は、環境・開発

及び拡散防止等に採用する主な工法は、低吐出・低圧力の「多点ダブルパッカー工法」、新規住宅の基礎工事に用いる「撥水

昨年痛めました左肩が今年に入りアメリカンフット選手並みに盛り上がり、これは放つておけないと整形外科へ。採血、レントゲン、MRI、CT、

げる働きをするアルコールは控えましよう。これには少々どころか今も相当こたえています。

豊住さんから酒を抜いたら何が残るかと言われそうですが、社業にせよボランティア活動にせよ頑張っている人の足を引っ張る訳にはいかない。善玉ウイスキスにエールを贈る様、ここはどこまで辛抱できるか、一日も早くどうぞアルコール楽しん下さいと言われる様、長年続けてきましたアルコールあつての人生、生活習慣の改革、アルコール抜きの会話、アルコール抜きの食事、侘しい、寂しい、しんどい、辛い、トンネルの先の灯を必ず掴む。もう一度、家に眠らせている多くの日本酒、ウイスキー、焼酎、ビール、ワイン、白洒等々、もう少ししたらお前達の出番は必ず来る。あとしばらく待つていろと心静め二つの天敵と斗つていきたい。

顧問
豊住
満

事業所だより

全国の支店・営業所・出張所の職員、協力会社の皆様、日々の業務お疲れ様です。

くようになり、一年以上経つた今でもなかなか収束する気配がありません。しかし先月末には、愛知県等に出されていた二度目の緊急事態宣言が解除された。コロナワクチンの接種も少しずつではありますが始まつたというニュースを聞くようになりました。これでコロナが収束に向かうと期待しています。コロナが収束するまでは、手洗い・うがい・マスク・密にならないなど当たり前のことですが、感染しない・感染させないよう引き続ぎ気をつけながら生活を送るしかないと思います。

研究開発室発足

桃の節句も過ぎ、ようやく春らしくなつてきましたが、一都三県に於いては、コロナ感染防止対策として発令された、緊急事態宣言期間の真っ最中です。連日の新聞やテレビのニュース報道はコロナ関連のことばかりですが、先月より先行して医療従事者へのワクチン接種も始まり、下げ止まり感はあるものの

さて、二月二十日新たに研究開発室が発足しました。冒頭、豊住顧問のメッセージを川邊常務が代読され、研究開発室メンバーへと土の事、困ったときは大洋と言われる技術のスペシャリスト、エキスパートと言われる信頼厚き研究開発室メンバーになつて下さいと、激励のコメントを頂きました。研究開発室発足の趣旨と活動内容については、技術立社として技術を磨くとともに事業の発展、継承を継続的に行うこと。各工法より付加価値や新工法の提案を行い、伸ばすべき新工法等へのチャレンジをすること。各工法プロとしての自覚を持ち、それぞれのグループでリーダーシップを發

⑥修復工 ⑤機械攪拌工 ④推進・同時間塗工
と七つのグループには担当取締役と三名の研究員が配属されました。当日は、各グループのスローガンと一年間何を選択し、どのような活動を行うか等の発表が行われました。私は、連壁・障害物撤去工グループに配属され、ミニウォール工法・ヒロワーワーク工法について活動していくべきだと考えていました。ミニウォール工法については、以前施工上のある問題点、簡素化によるコスト削減、電動・油圧化による作業効率等について検討する機会がありました。当時は、機械の重

です。再度センター長や研究員に御教示頂きながら検討したいと考えています。また、ライバル工法との比較や優位性を再度精査し、工法普及活動に繋げていきたいとも考えています。

一年間と短い期間で主種多様な研究開発の成果を上げることは非常に難しいと感じていますが、微力ながら努力していきます。最後になりますが、職員・職域の皆様のご支援・ご協力をお願いいると共に、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

新常務取締役西日本地区担当	新常務取締役西日本地区担当	新常務取締役西日本地区担当
奥山 喜裕	奥山 喜裕	奥山 喜裕
兼九州支店長	兼九州支店長	兼九州支店長
土屋 敦雄	土屋 敦雄	土屋 敦雄
新常務取締役施工本部長	新常務取締役施工本部長	新常務取締役施工本部長
兼神守研究開発センター長	兼神守研究開発センター長	兼神守研究開発センター長
現 取締役施工本部長	現 取締役施工本部長	現 取締役施工本部長
六鹿 敏也	六鹿 敏也	六鹿 敏也
新常務取締役営業本部長	新常務取締役営業本部長	新常務取締役営業本部長
兼東日本地区担当	兼東日本地区担当	兼東日本地区担当
現 取締役営業本部長	現 取締役営業本部長	現 取締役営業本部長

新	執行役員東京支店長
現	名古屋支店工事部長
國丸	和義
新	執行役員静岡支店長
現	静岡支店副支店長
渡邊	兼静岡支店工事部長
佳平	
新	執行役員名古屋支店長
現	名古屋支店副支店長
山田	兼名古屋支店営業部部長
憲英	
新	執行役員九州支店長
現	九州支店副支店長
庄田	兼九州支店工事部長
政義	
新	執行役員管理本部長
現	管理本部長

二月一七日 岩田貴弘
岩田真佳ちゃん長女

★お疲れ様でした

二月二八日 板垣 穂乃香

名古屋支店 開発部

東京支店 東北営業所

押することと、協会活動等積極的に関与し、工法発展に寄与することを念頭に置き、一年間を区切りとして活動していきます。研究開発室は次のグループで構成され、

神守研究センター 管理課
課長 福岡 麻
しくお願ひいたします。

●取締役の異動について
月二二日開催予定の第五四回時株主総会の承認を経て正式に
決定する予定です。

● 執行役員の異動

現 川邊 孝行
常務取締役 東日本地区担当
兼 東京支店長

高田 哲夫

現 取締役 名古屋支店長

☆新しい仲間
三月一日

全て手作業(手溶接)で行つていきました。一本三m以上あるチエーンを一日で二本から三本しか肉盛りをすることができませんでした。また一日中溶接のトーチを持つていなくてはならないので、体力的にもかなり厳しい作業でした。こんな効率の悪い仕事は改善しなくてはいけないということで、製作課のメンバーを中心に試行錯誤を経て、自動肉盛り溶接機を開発しました。この機械で温度管理、溶接工程、制御プログラム等色々なノウハウを得ることが出来ました。この機械を使用する様になつてからは、一日に一〇本前後の肉盛りが可能になりました。まだ現在は、TRD、ミニウォールのチエーンしか自動で補修することが出来ませんが、この機械と技術を応用してTRDのサイドプレートやチエーンガイド、障害撤去や杭抜きで使用

するケーシングチューブの補修など色々な作業を自動で行えると思います。現在は、サイドプロレート用を試作中です。

今回は、神守研究開発センターでの改善の一例を紹介しましたが効率が改善されコストを下げることが出来れば収益の改善につながると思い、センターの職員全員で日々知恵を出し合っています。最後になりましたが、神守センター職員一同皆様の期待に応えられるよう頑張ります。

皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく

このところ地盤について研究開発室発足メッセージ等で少しごれましたが、少し見方を変えて思いつくところを記してみました。

会社の保養施設ひるがの山荘大きな石が土留めになつていました。しかし、山荘は大石を抱きかかえるかの様に建つてきました。渓流沿いに建ち窓から竿を伸ばすとヤマメ等が釣れる絶景のケーション。冬はスキー場も営み、夏はゴルフ場がまで一〇分、冬夏楽しい私の大きな山荘でした。今は手放しました。

しかつた思い出しか残つてい
せんが、特に印象に残つてい
のは大石の中に建つ山荘でした
長野県に現在も残つていて
御岳保養所、名古屋からの往
路国道一九号線沿いを流れる
曾川。上流に向かう程、川の
は大きな石で敷き詰められて
ます。数年前、車中で昔から
わる大石川を上ると言う話を
ますと、そんな馬鹿なと返事
戻つきましたが、その時は
のまま聞き流していましたが
最近同じ様な話が出て、同乗
が本当ですかと聞き返す。ス
ホで調べてみたらと返しますと
車中でスマホを開くと実際調
した人が大きな石が川を上る
が確認できた測量結果が示さ
ていて昔からの言い伝えが証

されました。上流から流れれた水が石の上流側底部の砂をい流し石は上部へ転倒を繰り返す。小さな石は流れ細小化して下流へ。大きな石は上に上る理屈は判るが、感性として受け入れるのは難しい。それが人常であろう。いずれにせよ事長良川上流域ひるがの山荘の団は大石揃い。昔の言い伝え地名、地形から学ぶ事は多い若い頃、大地にはロマンがいぱい。地盤について指導頂いた土木の師の口癖。この先も地名、地形等について機会がありますたら記してみたいと思つています。